



2020年(令和2年)

3月28日
土曜日

地域とともに

発行所

山陽新聞社

岡山市北区柳町2-1-1

電子版山陽新聞デジタル
<https://www.sanyonews.jp>

鳥居の朱色鮮やか

前 備

三石八幡宮
宮総代会 古い5基建て替え

三石八幡宮(備前市三石)の稲荷社にある鳥居6基のうち、5基が新たに建立された。

老朽化のため、宮総代会が約1年がかりで実施。14世紀創建とされる神社に、鮮やかな朱色の鳥居がよみがえった。

本殿東側の稲荷社前
にある鳥居はいずれも
高さが約2.8m、幅は約
1.8m。2005年

ごろに設置されたが、
風雨による損傷が激し
い5基の建て替えを決
めた。

昨年2月に宮総代が
所有する付近の山中で
ヒノキを伐採し、皮を
剥いで乾燥。塗装まで
の全ての作業を宮総代
たちの手で行った。

15日に建て替え作業
があり、宮総代ら約20
人が傷んだ5基を取り
除き、新たな鳥居を据

え付けた。4月12日の
春祭りでお披露目す
る。費用は三石地区に
工場を持つ建設用鋼材
メーカー・桂スチール
(兵庫県姫路市)が提
供した。

溝口隆二総代長(82)
は「三石八幡宮は地域
のシンボル。鳥居と共
に後世へ引き継いで
いきたい」と話してい

た。
宮総代会によると、



三石八幡宮稲荷社の鳥居を建て替える宮総代ら

三石八幡宮は1333年東大和二郎が築いたと
年に山城・三石城(備前)伝えられている。
前市三石)を建てた伊
(岡亮佑)